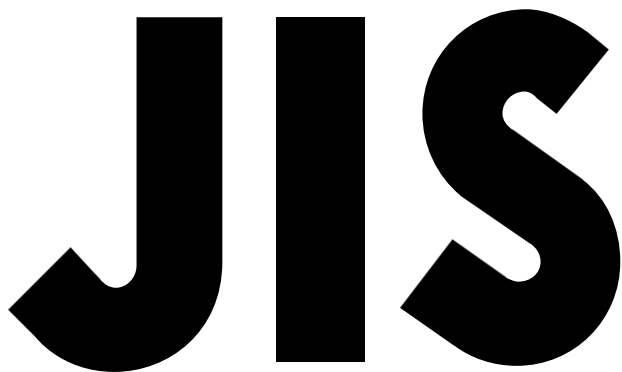




ポンプ吐出し量測定方法

JIS B 8302 : 2022

(JSIM/JSA)

令和 4 年 2 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	松 橋 隆 治	東京大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 29.1.30 改正：令和 4.2.21

官 報 掲 載 日：令和 4.2.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本産業機械工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-6821)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 測定方法の種類	1
5 せきによる測定方法	2
5.1 せきの構造	2
5.2 せきのヘッ드의測定装置	5
5.3 せきのヘッ드의測定	6
5.4 流量の算出	6
5.5 せきの不確かさ	8
6 絞り機構による測定方法	9
6.1 絞り機構の構造	9
6.2 絞り機構の管路	11
6.3 ヘッド差の測定	13
6.4 流量の算出	14
6.5 流出係数	14
7 計器による測定方法	17
7.1 フロート形面積流量計	17
7.2 電磁流量計	18
7.3 タービン流量計	20
8 容器による測定方法	20
8.1 装置	20
8.2 測定	21
8.3 流量の算出	21
附属書 A (参考) 60° 三角せき	22
附属書 B (参考) もぐりせき	23
附属書 C (参考) せきで測定できる流量範囲	24
附属書 D (参考) せきの設備寸法	25
附属書 E (参考) 入口ノズル	27
附属書 F (参考) 絞り機構及び計器による方法における整流装置	29
解 説	31

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本産業機械工業会（JSIM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 8302:2002** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ポンプ吐出し量測定方法

Measurement methods of pump discharge

1 適用範囲

この規格は、ポンプの吐出し量を測定する方法について規定する。

注) ポンプが、単位時間に吐き出す液体の体積。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7551 フロート形面積流量計

JIS B 7554 電磁流量計

JIS B 8301 遠心ポンプ、斜流ポンプ及び軸流ポンプ—試験方法

JIS Z 8762-1 円形管路の絞り機構による流量測定方法—第1部：一般原理及び要求事項

JIS Z 8762-2 円形管路の絞り機構による流量測定方法—第2部：オリフィス板

JIS Z 8762-3 円形管路の絞り機構による流量測定方法—第3部：ノズル及びノズル形ベンチュリ管

JIS Z 8762-4 円形管路の絞り機構による流量測定方法—第4部：円すい形ベンチュリ管

JIS Z 8765 タービン流量計による流量測定方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS B 8301** による。

4 測定方法の種類

吐出し量の測定は、次のいずれかの方法による。

せきによる方法、絞り機構による方法及び計器による方法は、**JIS B 8301** の **5.7.1A.1**（常温清水の特性）に規定する常温清水（以下、水という。）の定常な流量の測定に適用する。

容器による方法は、この水以外の液体の流量の測定に適用してもよい。

- a) せきによる方法 せきによる流量測定範囲は、**附属書 C** を参照。また、新設時の設備寸法は、**附属書 D** を参照。